

3年 ESD総合的な学習の時間 事後レポート H28. 12. 13
単元「人にやさしい町づくり」のために自分たちでできることをしよう(8/16)

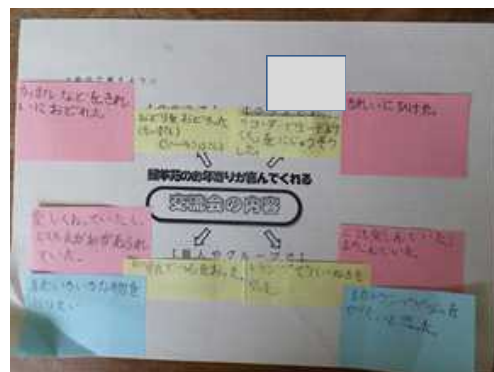
1 実践の概要

「銀羊苑」のお年寄りとの交流会を行ったが、2回目の交流会にむけて、前回よりもさらによくなる交流会とはどのようなものかについて話し合う。

2 実践の様子



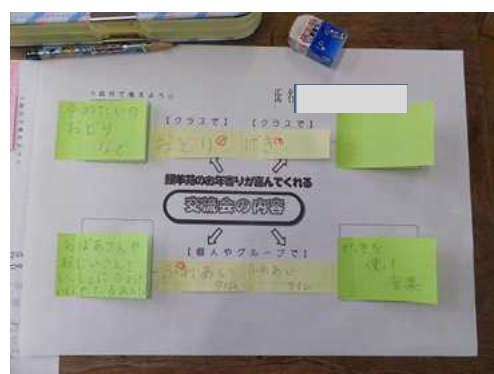
①交流会で取り組んでみたいことを付箋紙に書く。(個人)



②付箋紙が貼られたワークシート



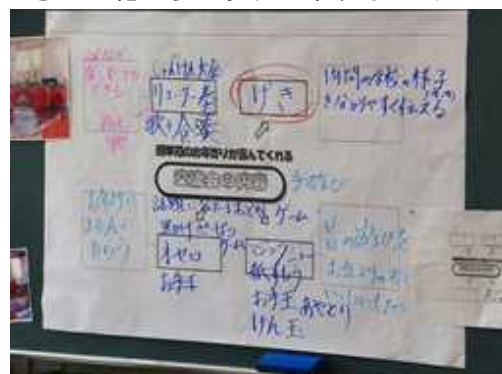
③日本語が苦手な児童に配慮したひらがな表が用意されていた。



④班で話し合いを行った。
そして班のワークシートにまとめた。



⑤各班で話し合った内容を全体の前で発表した。



⑥担任が発表を聞きながら、意見を見やすくまとめていった。

3 実践のポイント

国語「グループごとに、どのようにせつめいするか話し合おう」の学習が、今回のグループ内での話し合いに活かされていたか。

<国語で学習したこと>

- ① 話し合いに参加するときは、指名されてから話す。
- ② 自分の考えを先に言い、次に、考えた理由を言う。
- ③ 友だちの意見と同じところ、違うところをはっきりさせて、意見を言う。
- ④ 司会をする人を決めて、話し合いを始める。
- ⑤ 発言する人を指名したり、順番を決めたりする。
- ⑥ ところどころで、そこまでに出了意見を整理する。

＜本実践のグループでの話し合いの様子＞	国語の効果
司会：考えたことを順番に言ってもらいます。はいC 1 さん。	← ⑤
C 1：クラスでやりたいこととしては、歌や踊りをもう一回やりたいです。	← ①
司会：もう一回言って。（プリントに記入する）	← ⑥
C 2：ぼくはちょっと付け足して、二重奏や踊りを踊りたいです。踊りも少し変えたいです。	← ③
C 3：前と同じようにポッキーダンスがいいと思います。 C 2 君の意見と同じように、踊りを変えてもよいと思います。	← ③
司会：ーちょっと時間を使って、プリントに記入する。ー クラスで歌や踊りをやった方がよいという意見があったし、踊りを変えたりするとよいという意見もありました。	← ⑥
C 2：「ソーラン節や甚目寺カッポレをポッキーダンスのように変えたらよいという意見がありました」にして発表しましょう。 ーこの後、お年寄りとの個人での遊びについて話が進んでいった。ー	

あるグループの一場面だけをメモしたが、かなりうまく話し合いを進めていた。国語との連携がうまく行われていると感じた。

4 参観者の声

- ・本時の学習課題が、児童にとってインパクトのある課題であり、意欲が高まった。
- ・国語の学習内容を実践化したものであるため、来年度以降もこの実践を追試できる。
- ・シンキングツールを変形させたワークシートを使用していた。どんどん応用していったほしい。
- ・「鉛筆を置いて」「班になって」などの指示があるとすぐに行動に移せていた。普段からの指導が行き届いていると感じた。
- ・グループで話し合う時は、司会の児童がしっかり進行していて、他の児童も言葉遣いに気をつけながら発言できていた。
- ・グループで活発な話し合いが行われていた。
- ・落ち着いた雰囲気の中で集中して授業がおこなわれていた。